

令和 3 年 12 月 21 日

総合政策局参事官(国際物流)室

## 日本式コールドチェーン物流サービス規格の ASEAN への 普及に向けた取組について議論します

～第 5 回コールドチェーン物流サービス規格(JSA-S1004)に関する普及検討委員会の開催～

国土交通省は、事業者間(BtoB)におけるコールドチェーン物流サービス規格(JSA-S1004)の ASEAN への普及を図るため、関係省庁、関係団体、物流事業者等で構成される標記委員会の第 5 回会合を 12 月 22 日に WEB 会議形式で開催します。

国土交通省は、令和 2 年 6 月に一般財団法人日本規格協会よりコールドチェーン物流サービス規格(JSA-S1004<sup>※</sup>)が発行されたことを踏まえ、同年 11 月に関係省庁、関係団体、物流事業者等で構成される「コールドチェーン物流サービス規格(JSA-S1004)に関する普及検討委員会」(座長:森 隆行[流通科学大学名誉教授])を設置し、同規格を ASEAN 地域に効果的に普及するための方策について検討を行っています。

今般、昨年度策定したマレーシアにおけるアクションプランの取組について進捗状況を報告するとともに、今年度新たにアクションプランを策定するインドネシア及びタイにおける調査の中間報告、アクションプランの骨子案についての検討を行うため、以下のとおり第 5 回会合を開催します。

<第5回コールドチェーン物流サービス規格(JSA-S1004)に関する普及検討委員会>

1. 日 時 : 令和 3 年 12 月 22 日(水) 14:00～15:30
2. 形 式 : WEB 会議
3. 議 題 : (1)マレーシアにおけるアクションプランの取組状況について  
(2)インドネシア及びタイにおけるアクションプランの策定に向けた調査の中間報告、アクションプランの骨子案について
4. 委 員 : 別紙のとおり
5. その他 :
  - ・ 会議は非公開とし、一般の傍聴は予定しておりません。
  - ・ 会議の結果については、後日、国土交通省ホームページに掲載します。

※ JSA-S1004

日 ASEAN 交通連携の枠組みのもと、平成 30 年 11 月に開催された日 ASEAN 交通大臣会合にて承認された「日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドライン」をベースに作成された日本の民間規格。

ASEAN 諸国での普及を前提として日本語と英語の 2 カ国語で作成され、ASEAN 諸国において倉庫事業者及び運送事業者が低温保管及び低温輸送に関する作業を行うに当たって考慮すべき事項が盛り込まれている。

**【お問い合わせ先】**

総合政策局参事官(国際物流)室 高橋(昌)、木下、高橋(潤)

代表:03-5253-8111(内線 25404、25425、25416)

直通:03-5253-8800 FAX:03-5253-1559

ワールドチェーン物流サービス規格（JSA-S1004）に関する普及検討委員会  
委員名簿

(敬称略)

森 隆行	学校法人 中内学園 流通科学大学 名誉教授
池田 立秋	佐川急便株式会社 営業開発部 国際事業推進担当部長
中村 俊文	株式会社ニチレイロジグループ本社 執行役員
入口 浩	日本通運株式会社 海外事業本部 海外事業統括部 次長
梅津 克彦	ヤマト運輸株式会社 執行役員（戦略渉外）
鶴巻 剛志	郵船ロジスティクス株式会社 グローバルヘッドクォーター ビジネスデベロップメントグループ フードIVチーム
米倉 真	一般社団法人日本物流団体連合会 業務部担当部長
福原 智幸	一般財団法人日本海事協会 調査開発センター兼交通物流部 グループリーダー 上席コンサルタント
蛭間 功	一般財団法人日本規格協会 標準化総括・支援ユニット 標準化企画調査課長
川上 洋二	一般財団法人運輸総合研究所 国際部 次長
山浦 清孝	農林水産省 輸出・国際局 国際地域課 国際交渉官
布施 吉章	経済産業省 通商政策局 アジア大洋州課 参事官
大坪 弘敏	国土交通省 大臣官房参事官（国際物流）